

## 小田原市教育委員会定例会会議録

- 1 日時 平成30年10月23日(火)午後7時00分～午後8時31分  
場所 小田原市役所 3階 全員協議会室

### 2 出席者氏名

- 1 番委員 栢 沼 行 雄 (教育長)  
2 番委員 和 田 重 宏 (教育長職務代理者)  
3 番委員 萩 原 美由紀  
4 番委員 吉 田 眞 理  
5 番委員 森 本 浩 司

### 3 説明員等氏名

- |                 |         |
|-----------------|---------|
| 教育部長            | 内 田 里 美 |
| 教育部副部長          | 友 部 誠 人 |
| 教育総務課長          | 飯 田 義 一 |
| 学校安全課長          | 川 口 博 幸 |
| 教育指導課長          | 石 井 美佐子 |
| 教育指導課指導・相談担当課長  | 高 田 秀 樹 |
| 子育て政策課長         | 山 下 龍太郎 |
| 子育て政策課こども相談担当課長 | 内 田 暁 子 |
| 教育指導課指導主事       | 楠 喜久子   |
| 教育指導課指導主事       | 川 口 宏 美 |
| 教育指導課指導主事       | 瀬 戸 由里子 |
| 学校安全課副課長        | 高 田 恭 成 |
| 教育指導課副課長        | 瀬 戸 浩   |
| 教育指導課副課長        | 齋 藤 吉 弘 |

#### (事務局)

- |          |         |
|----------|---------|
| 教育総務課副課長 | 前 島 正   |
| 教育総務課主任  | 小 林 綾 野 |

### 4 報告事項

- (1) 市議会9月定例会・決算特別委員会の概要について (教育部)  
(2) 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について (教育指導課)

### 5 その他

- 平成30年度教育委員会事務の点検・評価後の状況について (教育部)

## 6 協議事項

- (1) (仮称) おだわら子ども教育支援センターについて【非公開】 (教育指導課)

## 7 議事等の概要

- (1) 教育長開会宣言

栢沼教育長…本日の出席者は5人で定足数に達しております。

- (2) 9月定例会会議録の承認

- (3) 会議録署名委員の決定…吉田委員、森本委員に決定

栢沼教育長…議事に入る前に、会議の非公開について、お諮りいたします。

本日の日程のうち、協議事項(1)「(仮称) おだわら子ども教育支援センターについて」は、現在調整中の案件でありますので、その性質上、これを非公開といたしたいと存じます。

本議案を非公開とする件について、採決してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声)

栢沼教育長…御異議もありませんので、採決いたします。協議事項(1)を非公開とすることに賛成の方は、挙手願います。

(全員挙手)

栢沼教育長…全員賛成により、協議事項(1)は、後ほど非公開での審議といたします。

- (4) 報告事項(1) 市議会9月定例会・決算特別委員会の概要について (教育部)

教育部長…報告事項(1)「市議会9月定例会・決算特別委員会の概要について」を報告させていただきます。資料1を御覧ください。

1ページは日程でございます。

9月定例会の会期は9月3日から10月5日まででございました。9月6日に議案関連質疑、9月10日及び18日に厚生文教常任委員会、9月14日から9月21日までが一般質問、9月21日から9月27日まで決算特別委員会による平成29年度決算の書類審査が行われました。

次に2ページの厚生文教常任委員会でございます。今回は、補正予算の追加提案を行ったため、2日開催しております。

まず、9月10日には、「議案第69号 平成30年度小田原市一般会計補正予算」の審査がございました。8月の教育委員会定例会で御説明申し上げまし

た、小・中学校、幼稚園のブロック塀撤去後のフェンス新設工事に伴う補正予算等で、常任委員会での審議後、委員全員の賛成で「可決すべきもの」との決定を受け、14日の本会議において可決されました。

なお、陳情第138号「エアコン設置に対する陳情書」は、継続審査となりました。

次に、「2 所管事務調査」といたしまして、「平成30年度教育委員会事務の点検・評価について」及び「平成31年度使用教科用図書の採択について」、それぞれ報告をいたしました。

9月18日には「議案第79号 平成30年度小田原市一般会計補正予算」の審査がございました。9月の教育委員会定例会で御説明申し上げました、空調設備整備に係る補正予算で、常任委員会での審議後、委員全員の賛成で「可決すべきもの」との決定を受け、21日の本会議において可決されました。

また、「エアコン設置に対する陳情書」につきましても、常任委員会で「賛成少数」で「不採択すべきもの」とされ、21日の本会議で不採択とされました。

なお、3、4ページに陳情書の写しを添付しております。

次に、5ページを御覧ください。一般質問では、25番 大川 裕議員ほか7名から教育部関連の質問がございました。

6ページを御覧ください。はじめに、大川議員からは「学校施設における空調設備について」の質問があり、「空調設備の整備については、事業者選定委員会を設置して募集要項等を決定し、プロポーザルを経て、11月末までに事業者を選定・仮契約の後、市議会12月定例会において本契約締結の議案を提案したい」旨、答弁いたしました。

次に、楊議員からは「教育現場での童謡の取組について」の質問などがあり、「学習指導要領に共通教材として童謡が示され、小田原ゆかりの北原白秋については、5年生の音楽科の教科書に「待ちぼうけ」「この道」が掲載されており、授業で扱っている」旨、答弁いたしました。

次に、鈴木敦子議員からは「小中学校等における熱中症予防対策について」の質問などがあり、「児童生徒の健康観察を行い、心身に不調を感じたら申し出て休むよう習慣付けること、無理をさせないこと、こまめに水分を補給し適宜休憩を入れることなどを行っている」旨、答弁いたしました。

7ページを御覧ください。安藤議員からは「小中学校における情報モラルに関する指導の現状について」の質問などがあり、「小学校では道徳科、社会科、中学校では道徳の時間や技術科で情報モラルについて扱っている。また、教科の学習以外にも外部から講師を招いて携帯電話安全教室を開催するなど、情報の正しい取扱いや伝え方について指導している」旨、答弁いたしました。

8ページを御覧ください。佐々木議員からは「聴覚障がい者の支援について」の質問があり、「各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動や人

権教育、道徳教育等、様々な場面で手話を含めた様々な障がい者の支援について、理解が深まるよう取り組んでいる」旨、答弁いたしました。

次に、奥山議員からは「人口減少が進む中での学校配置について」の質問などがあり、「全市的に年々児童生徒数は減少しているものの、複式学級を設ける必要がある学校は今のところ見込まれない。学校配置については地域コミュニティの核である学校の役割等も踏まえて総合的に考えていくべきものであり、当面は対策を講ずる考えはない」旨、答弁いたしました。

次に、田中議員からは「小中学校への空調設備設置の理由について」の質問があり、「災害級の暑さが、今年だけの異常気象ではなく、来年度以降も懸念されることから来年の夏には空調設備を稼働しなければ、子供たちの命に関わることから設置の決断をした」旨、答弁いたしました。

9ページを御覧ください。最後に、鈴木美伸議員からは「児童生徒の犯罪被害防止に向けた取組について」の質問があり、「誘拐被害防止のための警察と連携したロールプレイング型防犯教室などの開催や、総合的な学習とも関連を図り、防犯マップの作成などに取り組んでいる」旨、答弁いたしました。

次に10ページを御覧ください。決算特別委員会総括質疑では、誠風 神戸秀典議員ほか3名から教育部関連の質問がありました。

11ページを御覧ください。はじめに、神戸議員からは「教育委員の構成の見直しについて」の質問があり、「教育委員の選出に当たっては、広く社会の常識や住民ニーズを教育行政に反映させるため、幅広い経験や知見を有する方に参画いただくことが必要であり、今後もそのときどきの教育を取り巻く状況を勘案しながら任命していきたい」旨、答弁いたしました。

次に、浅野議員からは「学校施設の防犯カメラの更新について」の質問があり、「平成24年度、25年度に設置したもので、当時としては一般的な解像度であり、現時点で更新の予定はないが、更新の際には、性能等は適切に判断したい」旨、回答いたしました。

次に、木村議員からは「部活動地域指導者の学校への配置について」の質問があり、「平成28年度までは、申請のあった部活動地域指導者の人数が配置人数を超え、要望に応えられない学校もあったため、平成29年度から予算を増額し、要望どおり配置できるようにした」旨、答弁いたしました。

最後に、安野議員からは、「学校施設改修にスポーツ振興・教育環境改善基金を充当した累計額について」の質問などがあり、「平成28年度から平成29年度までの充当額は、3億2,160万円である」旨、答弁いたしました。

以上で教育部所管の市議会9月定例会の概要についての報告を終わりにいたします。なお、文化部につきましては、今回9月定例会での質問はございませんでした。

(質疑)

吉田委員…8ページの佐々木ナオミ議員の質問です。全体の流れが分からないのですが、聴覚障がい者の支援について質問が出たきっかけや、課題意識があったのでしょうか。

教育指導課長…昨年度も佐々木議員から質問がありました。佐々木議員自身が手話を学ばれていることもあり、広く進めていくという気持ちから、昨年度に引き続き今年度も質問されたと伺っております。

吉田委員…聴覚障がい者の支援という考え方も必要であると思いますが、手話を勉強するということが以上に、当事者と付き合うことや、学校で手話を習うのであれば、聴覚障がい者の方に教えてもらうなど、手話を巧みに操ることが聴覚障がい者の支援ではないという視点が少し欲しいと思いました。私は手話があまりうまくはありませんが、伝わりますし、コミュニケーションというのはそういうものです。以前、手話のスピーチコンテストで優勝した高校生が、聴覚障がい者と出会ったことがないと言っていたのを聞いてとてもショックでした。手話とはそういうものではないですし、障がい者との関わりは、支援と考えるのではなく、一緒に暮らすことという視点が欲しいと思いました。

吉田委員…8ページの奥山議員の「人口減少が進む中、今後の学校配置をどのように考えているのか」という質問ですが、奥山議員はどのような考えなのでしょう。

教育総務課長…学区の再編については、非常に難しい問題であると議員自身も理解しており、現状はどうかということだけ伺いたいという趣旨でございました。

吉田委員…11ページの神戸議員の質問についてです。教育委員の構成について新しい視点を取り入れるという質問ですが、議員自身は、どういう視点が必要であると考えているのか、また、どのような課題を感じていてこの質問をされたのでしょうか。

教育総務課長…詳しく質問を聞き取っていないので十分ではないですが、今回、吉田委員の再任もございましたが、近年、再任の委員が多いのではないかとというような点があったと聞いております。

吉田委員…再任されない場合が今までは多かったのでしょうか。

教育総務課長…「小田原の教育」に各委員の任期が記載されておりますが、現在の構成では、形式的には全員が再任の状態になっております。委員全員が2期以上の複数期という構成は近年なかったということがあります。

(その他質疑・意見等なし)

(5) 報告事項(2) 平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について(教育指導課)  
教育指導課長…資料2を御覧ください。本資料は、11月中に市HP等におきまして公表する  
予定のものです。それでは、内容について御説明申し上げます。

1ページをお開きください。2の調査の概要は、概ね例年同様となっております。今年度は4月17日に、小学6年生、中学3年生を対象に、悉皆での調査を実施しております。調査の内容については、教科に関する調査と質問紙調査となっておりますが、今年度については、国語と算数・数学に加えて理科の調査を実施しました。

「3 各教科の平均正答率」の(1)は今年度の平均正答率一覧です。本市は、小学校国語A問題を除く全ての教科において、全国平均正答率プラスマイナス5パーセントと、文部科学省の言う「全国と大きな差はない」という範囲にあります。小学校の国語、算数、中学校の数学において、B問題が、より全国平均に近くなっています。児童生徒の「活用」する力の育成に向けて、各校で取り組まれている授業改善等の成果であると捉えています。

次に3ページの「4 調査結果のポイント」を御覧ください。主な成果、主な課題、児童生徒質問紙と学力の相関について記載しました。

成果として3点挙げました。成果1は、中学校国語A問題において平均正答率の向上が見られたことです。各校の「基礎学力の向上」に向けた計画的、継続的な指導の工夫・改善の成果が現れていると考えます。成果2は、平成27年度に小学6年生の児童の調査結果と、3年後の中学3年生の調査結果を比較したのですが、ほとんどの教科で平均正答率が向上しています。

4ページの成果3は、「家で学校の予習・復習をしている小学生の割合」と「学校以外に1日1時間以上勉強している中学生の割合」が全国平均を上回っており、中学生においては、昨年度から3ポイント増加していることから、「家庭での時間の使い方」の一部に改善が見られたと捉えております。

次に、主な課題について4点挙げました。5ページ、6ページを御覧ください。課題1、課題2は、これまで同様、基礎的・基本的な学力の定着についてです。国語では、小中学生で、それぞれ漢字を文の中で正しく使ったり、文脈に即して漢字を書いたりすることが全国平均を下回っています。小学校の算数は、全般的に全国平均を下回っています。また、中学校では、与えられた資料を読み取る「資料の活用」に課題が見られます。

課題3です。昨年度大きく改善した無解答率が、今年度再び全国平均との差が広がる形となりました。最後まで取り組む力や取り組もうとする意欲を育てることは、児童生徒の将来において、大変重要であると考えておりますが、児童生徒質問紙においても、「最後まで解答を書こう」と努力したかという質問に対して、中学校の数学を除き、肯定的な回答の割合が全国平均を下回っています。この無解答率の改善については、市としても課題として取り組んでいくべきであると考えています。

課題4は、放課後や週末など、家庭での時間の過ごし方です。全国平均も同様の傾向ですが、複数回答が可能な質問において、多くの児童生徒が、余暇の時間にゲームやインターネットなどをして過ごしていることがわかります。先ほど、家庭での時間の使い方が一部改善したと申し上げたのですが、一方で本市の児童生徒がテレビを見たり、ゲームやインターネットをしたりする時間が多いうことについては、引き続いての課題であるかと考えております。これは学校だけではなく、家庭への啓発やあるいは児童生徒の自主性を生かした取組の一層の推進が必要であるかとも考えます。

8ページを御覧ください。最後に、児童生徒質問紙の5つの項目と学力との相関について記載しました。「先生は自分のよいところを認めてくれていると思うか。」「授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいたか。」「授業や課外活動で、地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったか。」そして「新聞を読んでいるか。」「ニュースを見るか。」です。これらの項目では、肯定的な回答と教科の平均正答率に正の相関が見られました。これは当たり前ととれることかもしれませんが、こうしたデータを示しながら、授業改善の視点や教員や保護者等の働きかけ等についても、学校だけでなく家庭にも御理解いただくことが大切であるかと考えております。

最後になりますが、本調査は、平均正答率の向上ということだけが目的ではなく、この結果を授業改善や児童生徒の学習環境の充実に生かすことが大きな目的であると考えておりますので、学校には、児童生徒質問紙調査や学校質問紙調査の結果も積極的に活用していただきながら、児童生徒の学力向上に向けた取組を進めていただきますようお願いをしております。

また、これから約1ヶ月をかけて、教育研究所の担当が「結果分析に係る各中学校区への訪問」を今年度も実施し、中学校区毎のより詳細な分析や学力向上に向けての具体的な提案をさせていただき、今後の学校での取組を支援していきたいと考えております。

説明は以上となります。

教育総務課長…引き続きまして、本日卓上配布いたしました「資料2の追加資料」を御覧ください。

こちらは、ただいま教育指導課長が御説明いたしました、平成30年度全国学力学習状況調査の結果から、学校教育振興基本計画の成果指標として設定した項目について抽出したものです。

表面の(1)自ら考え表現する力、裏面の(5)夢への挑戦と(6)おだわらっ子の約束で数字が入っていないところがございます。これは、国の調査項目の変更により、平成30年度の調査から項目が削除されてしまったものでございます。

このため、来年度の学力学習状況調査が実施される際には、市独自調査として調査を行うよう検討しているところでございますが、平成30年度分について

は、改めて追加調査を行う計画がないことから、調査結果につきましては、ブランクとなってしまいますことを御承知おきください。  
以上で説明を終わらせていただきます。

(質疑)

萩原委員…無解答率についてですが、毎年課題になっているかと思いますが、去年と比べてこれだけ差が出た原因についてはどう考えていますか。

教育指導課長…原因については、これから分析する必要があると考えておりますが、昨年は無解答率が下がり改善されたことから、今年度は市から学校へ無解答率について伝えなかったということです。引き続き、この点についても課題であるということは伝えていきたいと考えております。

和田委員…例年、特に小学校が多いですが、平均を下回っている状況です。5パーセント以内であるという説明をいつも受けますが、いつも感じることは、「先生は自分のよいところを認めてくれるか」などの点からも、数字的に見ても小田原市の子供たちは先生との信頼関係があるように思います。一方で、先生に多少反発したとしても、未来の日本を担っていくためにも、自分の意見を言えるような子供たちを育てられないかと感じています。

教育指導課長…平均正答率プラスマイナス5パーセントというところで説明させていただいておりますが、原因は何かという点については非常に難しく、全国的に見ても地域特性があり、地域特性にも様々な要素があるため、一概に説明できない部分もあります。新聞やニュースを見るといった項目についても、学校だけでなく家庭の事情など、色々な要素があります。小田原市全体を見ても、全国平均を超える学校があったり、下回る学校があったり、個人によっても様々です。平均をどのように考えるかという点も難しくなっています。

栢沼教育長…例えば数学、算数などの授業が分からない子や、苦手な子については指標を立て、取り組もうとしていますよね。学校の中でも特に授業についていけなかったり、苦手だったりする子が、少しでも分かったり、できたりして、その人数のパーセンテージが下がっていくと、平均値が上がっていくと思います。1時間という限られた授業時間で内容をこなしていかなければいけない中で、そういう子供たちに対して、日々、現場の先生たちがどういう手法で手当てをしているのかという点についても現状を見極めながら対策を考える手立てがあると思います。

教育指導課長…質問紙調査になりますが、国語や算数、数学が分からないと答えた児童生徒の数値については、別の指標で図っておりまして、平均値としてしまうと、全国平均が上がっていると、なかなか差が縮まらず、測りにくいということがあり



ますが、分かった、分からないという点については、学校としても寄り添って対応していきたいと考えております。

森本委員…8、9ページの表にA層からD層までがあり、相関1、相関2を見ているとA層、B層が多くなっておりませんが、各層はどういったことを示しているのでしょうか。

教育指導課指導主事…8ページの上段に、学力との相関についてということで記載しております。クロス集計の各層というのは、国語や算数、数学などの教科ごとに出しておりますが、その中で一番特徴が表れている算数A、数学Aにおいて、児童生徒数の正答数の多い順に児童生徒を並べ、人数比率により4分の1ずつ、25パーセント刻みで4つの層に分けたものになります。小田原市については、これ以外の国語についても同様の傾向が見られます。

森本委員…A層、B層は正答率の良かった児童生徒ということでしょうか。

教育指導課指導主事…そうっております。

萩原委員…相関4「新聞を読んでいることと学力」についてですが、実際に学校の授業で新聞を取り扱っている状況は分かりますか。

教育指導課指導主事…学校により様々ですが、例えば、国語の授業等で見出しを考えるとということで新聞を持ち寄り、記事のどういったところで効果的に表されているかというように取り扱うこともあります。また、子供たちが自分の力で調べたり、自分で記事を見つけてきたりなどする場合もあります。

萩原委員…活用されている割には全国平均を下回っていますね。

教育指導課長…こちらの考え方ですが、授業での活用という側面はありますが、日ごろ新聞やニュースによって社会の出来事や世の中の動きなど色々なものに興味を持つという側面も大きいかと考えております。授業での活用がいきているかというよりも興味、関心や、日ごろの生活面などを含めた数値になっていると考えております。

吉田委員…分析され、難しいことが分かりやすくなっているかと思いますが、相関しているというときに、どちらが原因で、どちらが結果かということが明確になっていないはずなので、原因と結果を逆に読み取ってしまうと、おかしくなってしまうと思います。

教育指導課長…仰るとおりで、学力が高いので褒められていると思っているのかという側面もあるかと思いますが、ここで示した1つの理由としては、こういった働きかけが良い結果に結びつく可能性があるということを教員にも理解いただいて、認めていってもらいたいということがあります。御指摘については、そのとおりであると思いますので、注意していきたいと思っております。

(その他質疑・意見等なし)

(6) その他 平成30年度教育委員会事務の点検・評価後の状況について (教育部)  
教育総務課長…それでは私から御説明いたします。資料3「平成30年度教育委員会事務の点検・評価後の状況について」を御覧ください。

点検・評価でいただいた御意見への対応状況については、これまでのように翌年度にまとめて御報告するのではなく、対応状況を継続的に報告し、委員の皆様からの御意見を伺いながら、御意見の趣旨を事業に的確に反映していくということが、本年度の大きな変更点となっております。

資料3は、御意見に対する各事業の所管の現時点での対応状況を一覧としたものでございます。

表の左側にヒアリング対象の事業名と御意見の要旨記載しております。

中ほどの進捗状況については、「完了」「着手中」「未着手」「検討中」「対応予定なし」の5つから選択し、その右側に具体的な状況等を記載いたしております。

この一覧表については、状況に変化があった都度更新し、皆様に御提供してまいりたいと考えております。また、定例会には事務局の3課長は必ず出席いたしておりますので、内容として気になるものがありましたら、会議日程の「その他」の中で意見交換ができればと考えております。

こうしたことから、定例会への出席が必ずしもない補助執行の事業については、除かせていただいております。

本日は、この中から動きがあったものとして1点報告させていただきます。5ページを御覧ください。

学校施設維持・管理事業の39番のブロック塀でございますが、こちらについては8月の定例会において、9月補正予算の説明の中で、前羽小学校のブロック塀については線路と近接しているため、JRとの協議が必要であるため、撤去が完了していないことを御説明しておりました。児童の安全について、御心配をいただいておりますが、その後、JRとの協議が進み、10月12日に工事の実施について承諾が得られましたので、ブロック塀の撤去及びフェンスの新設に向けて準備を進めているところでございます。

私からは以上でございます。

(質 疑)

萩原委員…5ページ35番「みんなのトイレ」の設置について、各階に1箇所ずつ設置しているということですが、詳しく教えてください。

学校安全課長…記載の内容のとおりですが、トイレ改修については、全面的に改修する場合と便器を洋式化する場合がありますが、全面的に改修する際には「みんなのトイレ」を設置してきているところです。

萩原委員…現在、何校くらいという状況でしょうか。

学校安全課長…数についての資料は持ち合わせておりませんので、今はお答えできません。

教育総務課長…その点については、次の更新の際に記載させていただきたいと思います。

栢沼教育長…全面改修の折に「みんなのトイレ」を設置しているということで、今後の予定や、今までどれくらい設置したかについては、次回以降お答えください。

和田委員…37番の軽微な修繕については、私の意見であると思いますが、地域で暮らしている方々を含めた点検ということで、学校サイドだけで対応するのではなく、地域の学校であるという意識を高めるためにも必要であると考えています。「協力して一覧を作成」という点については、時間的には難しいと思いますが、「完了」となっています。今後ともこの部分については課題としていただきたいと思います。

学校安全課長…和田委員の御意見については承知しており、記載のとおり、実際に実施されているケースも多数あります。修繕については、内容により協力いただける場合もありますが、市教育委員会が施設の管理者として改修を行う立場であり、修繕の内容によっては、地域の方に必要以上に行っていただくことで、怪我をされる心配もあります。主旨である一覧を作るということについては、修繕を行おうとしているものの一覧は持っておりますが、地域のコミュニティやPTAに、ここをやっていただきたいということを出しづらいこともあり、学校との連携によって、行っていただくことが可能であると分かった場合は柔軟に対応していきたいとは常に考えております。施設管理者として行うという意識を常に持ちながら、協力いただける場合は柔軟に対応していきたいと考えています。

和田委員…学校に行ってみると、床が剥げていたり、様々なことが目につきますが、素人から見ても、マンパワーでできるのではないかというような箇所があったように思います。管理者である教育委員会が行うことであるということは承知していますが、こちらからお願いするのではなく、地域の方々が自分たちのマンパワーで取り組んでみようという意識作りのようなことができないかと思いました。怪我の心配がなく、あくまでも軽微で、地域の資源でできるような修繕であり、地域によっては、植木の手入れが得意な方が多いなどの地域性があるだろうと思いますが、地域の方々が自分たちの学校であるという意識で取り組んでいただければと思います。今後も継続して取り組んでいただきたいと思います。

栢沼教育長…小学校では、PTAに修理などの奉仕作業を行っていただいておりますが、地域ということでは、おやじの会などが取り組んでくれています。そういった活動が広がっていき、学校を愛するというような意識でマンパワーを入れ込んでいくということは、今後も考えていきたいと思っています。

教育総務課長…和田委員の御指摘は、学校と地域との関わりという点からの御提案であり、回答を所管したのが施設を中心に捉えている学校安全課となり、委員の思いと所管の回答の相違が生じた事例と受けとめております。そういったことがないよう、委員の意見をしっかり受けとめながら事業に生かしていくということが、このようなかたちとさせていただいた趣旨でございますので、今後ともよろしくお願いいたします。

吉田委員…この表の「着手中」となっているものの中で、点検・評価で意見が出たので着手したというものがすべてではないですよね。以前から行っている事業で引き続き行っているものもあるかと思いますが、点検・評価の意見があったので着手したものはありますか。

教育総務課長…現在、御指摘の趣旨として表を作成しておりませんので、次回以降分かるようにさせていただきたいと思っております。

栢沼教育長…委員から出た意見に対してどうであるかという部分が分かるようにしてもらえると良いと思っております。

森本委員…2ページの「情報教育の推進」16番で携帯・スマートフォンの使用頻度の高さですが、小学生はまだそれほど高くはないかと思いますが、中学生くらいになるとスマートフォンを持つ生徒が増えてくるかと思っております。今後、スマートフォンを使ったトラブルなどの危険性があることが考えられます。手引書を作成する考えはないとのことですが、中学生を対象とした、スマートフォンの利用に対する危険性などについての説明や講演などの対応はあるのでしょうか。

教育指導課長…教育委員会として手引書を作成する予定はありませんが、文部科学省が「スマホ時代の君たちへ」というリーフレットを作成しており、各年度に一度、各家庭に配られております。こちらが大変よくできておりますので、こういったものは活用していきたいと考えております。また、学校独自で携帯電話会社の方や警察の方を招いて講演会を行っており、引き続き取り組んでいきたいと考えております。

萩原委員…体力・運動能力向上事業の14番です。アスリートの派遣についてですが、検討中とのことなので、着手していないということでしょうか。着手中と検討中はどう違うのでしょうか。

教育指導課長…アスリートの派遣につきましては、平成28年度から取り組んでおり、着手しております。全小中学校で早期にという点や、在学中にという点については、中学生であれば3年の間で順番がまわってくるのかということなどを踏まえて検討中とさせていただきました。市としては派遣事業については取り組んでおります。

萩原委員…ラグビーのオーストラリアチームが小田原で合宿されますが、その方々と子供たちが触れ合う機会は作られたのでしょうか。

指導相談・担当課長…企画政策課が窓口となり、調整を行っております。下府中小学校における交流を計画していると聞いています。

栢沼教育長…これまでの点検・評価のまとめについては、年度末にまとめて行っておりましたが、今年度から、それぞれの委員の意見について、その後の進捗状況を随時このようなかたちでお伝えしていくということになります。次回以降も様々な御意見をいただきたいと思います。

(その他質疑・意見等なし)

栢沼教育長…その他、「平成30年度上半期寄付採納状況について」及び「平成30年度上半期教育委員会職員の公務・通勤災害の状況について」資料を配布いたしましたので、後ほど御覧ください。

それでは、先ほど非公開とすることにいたしました案件以外の議題は終了いたしましたので、非公開とすることにいたしました案件を議題といたします。非公開とする前に、その他、委員、又は事務局から何かありますか。

(特になし)

栢沼教育長…ないようですので、非公開といたします。関係者以外の方は、御退席ください。

(7) 協議事項 (1) (仮称) おだわら子ども教育支援センターについて【非公開】

(教育指導課)

## 8 教育長閉会宣言

平成30年11月27日

教 育 長

署名委員（吉田委員）

署名委員（森本委員）